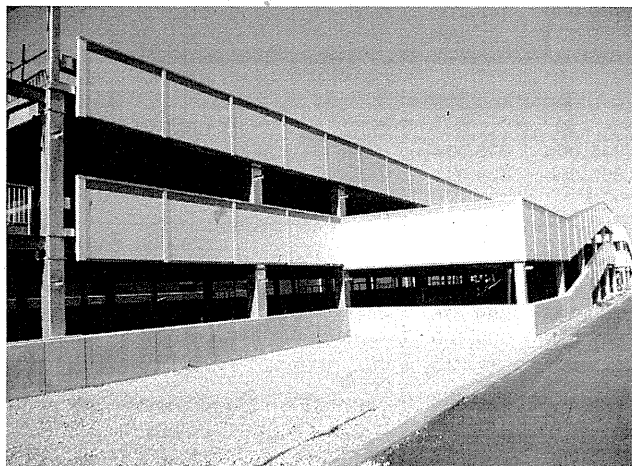


JFEシビル

# 新函館北斗駅前を見学

## システム建築協力会

【北斗】JFEシビルは、北海道と東北のシステム建築協力会が合同で、北海道北斗市に建設中の新幹線「新函館北斗」駅前立体駐車場の現場工事の見学を行った。



建設中の立体駐車場

既存の渡島大野駅を新幹線の新函館北斗駅に改名して新築・拡張し、2016年末に開業予定。その駅前に58.4台を収容できる2層3段(130坪×40坪)の自走式立体駐車

場を建設する。総工費は約11億円。JFEシビルはアンカーボルトより上部の工事を担当する。北海道システム建築協力会の小林弘会長(港工業社長)の情報が、受注のきっかけになった。

鉄骨の総使用量は700ト弱で、JFE建材のQ1デッキは約8000平方坪約13トン使用している。JFEシビルの工事範囲は、直接仮設工事、アンカーボルト据付、鉄骨工事、鉄筋工事、コンクリート工事、防水工事、金属工事、左官工事、電気設備工事。地域的なことを考慮して、防水、防雪、融雪などの措置を施した駐車場になっている。

来賓の富士昌紀JFEスチール北海道支社長は「建設需要は札幌中心部の再開発、石狩のLNG関連、新幹線病院、それに中小物件もあって堅調に推移している。ミルはフル稼働になっているが、コストアップ要因も多いので、皆さんと知恵を出し合って、適正利益を確保していきたい」とあいさつ。

きた。仕事が増えて、気持ちにゆとりができた。今後もなお一層JFEシビルの製品の拡販をお願いしたい」とあいさつした。

社本年度、売上高が630億円、利益は26億円を目標としている。売上高は目標を達成できそうだが、利益は不透明要素が多い。シス

テム建築事業部は売上高140億円、利益5億円を目指している。今後も皆さんと一緒に営業していきたい」とあいさつした。

## 東北 佐々木会長が留任 民間施設へ営業展開を



佐々木会長  
こいだ。耐震工事は、公共から民間の宿泊施設に営業展開をしていきたい」とあいさつした。

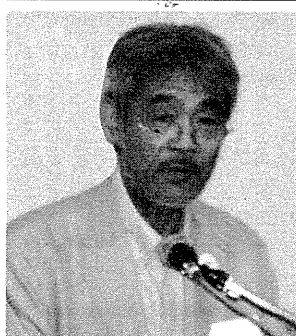
【函館】JFEシビルは、北海道函館市の函館国際ホテルで「JFE東北システム建築協力会総会」を開き、佐々木一嘉会長(佐々木組社長)などの留任を決めた。

JFEシビルの古賀慎一郎取締役は「当社は昨年度、売上高が630億円、利益が26億円だった。第4次中期経営計画の最終年度になる本年度は、売上高は前期を上回りそうだが、利益はコスト面などで不透明だ。現在は次の3カ年計画を策定中だが、3年後には売

## 北海道 小林会長が続投 健全経済への出口見える

【函館】JFEシビルは、北海道函館市の函館国際ホテルで「JFE北海道システム建築協力会総会」を開き、小林弘会長(港工業社長)の留任などを決めた。

続投が決まった小林会長は「アベノミクスで円安、株高となり、



小林会長  
つは、北海道と東北を一緒にした北日本運営にした。当

工事部門を強化したい。もう一

JFEシビルの古賀慎一郎取締役は「当社は昨年度、売上高が630億円、利益が26億円だった。第4次中期経営計画の最終年度になる本年度は、売上高は前期を上回りそうだが、利益はコスト面などで不透明だ。現在は次の3カ年計画を策定中だが、3年後には売

上高が800億円プラスアルファ、利益は40億円プラスアルファを狙う。システム建築事業部は昨年度の売上高が139億円、利益は9億6000万円だった。本年度も売上高は同じレベルになりそうだと説明。

JFEスチールの長尾秀司東北支社長は「全国的に消費税増税の影響でマツタリしているが、東北は回復が早い。建築はGW明けから引き合いが来た。一部のファブは来年度の案件を商談中で、先々まで底堅い需要がある。本年度は第4次中期の最終年度になるが、東北はまず復興。そのあとに競争社会を勝ち抜くためには、話を共有できる仲間をつくる必要がある」とあいさつした。